

第365回（令和5年12月）定例会
第2回各会派政務調査会長会 開催結果

1 日時

令和5年12月8日（金）11時45分から12時00分まで

2 場所

3号館6階 第2委員会室

3 出席者

| | |
|---------|-----------------|
| 門 間 雄 司 | 自由民主党政務調査会長（座長） |
| 奥 谷 謙 一 | 自由民主党政務調査副会長 |
| 増 山 誠 | 維新の会政務調査会長（副座長） |
| 島 山 清 史 | 公明党政務調査会長 |
| 迎 山 志 保 | ひょうご県民連合政務調査会長 |

（オブザーバー）

| | |
|---------|-----------------|
| 松 本 裕 一 | 自由民主党政務調査副会長 |
| 鏑 木 良 子 | 維新の会政務調査副会長 |
| 小 泉 弘 喜 | 公明党政務調査副会長 |
| 橋 本 成 年 | ひょうご県民連合政務調査副会長 |

4 当日配付資料

別添のとおり

5 会議概要

(1) 会派提案意見書案に対する態度表明・整理

各会派から会派提案意見書案に対する態度が別添のとおり表明された。

次に、座長から各会派に意見を求めた。

ア 意見書案6について

○島山 公明党政務調査会長

各会派の修文の趣旨は理解したが、食料品についてこういった活動を実施する団体からは、保管する冷蔵庫はやはり高額であるため支援が必要だという声も聞いており、この文言は残してほしい。コミュニティフリッジに限定せず他の様々なニーズにも対応できるように、という維新の修文理由を踏まえ、コミュニティフリッジの支援に「等」と付けるような形での修文ではどうか。

○増山 維新の会政務調査会長

そのような修文で差し支えない。

イ 意見書案7について

○迎山 ひょうご県民連合政務調査会長

「契約自由の原則」等、自民の修文理由は理解した。

ただ、この「モノなしマルチ商法」については、以前は高級布団や健康食品のような「モノ」を扱うマルチ商法がほとんどだったのに対し、2018年頃から「サービス」を扱うマルチ商法についての相談件数がこれを上回り、相談者は20代が中心になってきているということで、近年の大きな問題として消費者庁でも取り上げられている。こうした状況から、「モノなしマルチ商法」の文言は事例としてでも上げておいた方が良く考えているので、書きぶりについては調整を検討いただきたい。

○奥谷 自由民主党政務調査副会長

「モノなしマルチ商法」が危険であり、規制を強化すべきという趣旨には賛同しているので、現状として例示するような修文で対応いただければと思う。

ウ 意見書案3について

○増山 維新の会政務調査会長

各会派から意見をいただいております、大きく趣旨を損なうものではないので、修文を受け入れる方向で対応したい。

(2) 意見書案の整理

(1)を踏まえ、座長において次のとおり整理した。

① 全会派一致の賛同が得られた意見書案

意1 ナガエツルノゲイトウ等の特定外来生物に係る抜本的対策を求める意見書

② 全会派一致の賛同に向けて座長調整案を示す意見書案

意2 本州四国連絡高速道路を含めた「全国共通料金制度」の継続を求める意見書

意3 公私格差のない高校等無償化制度の実現を求める意見書

意4 花粉症対策としてのスギ人工林の植え替えに関する予算確保について

意5 介護・障害福祉分野における処遇改善を求める意見書

意6 食品ロス削減への国民運動の更なる推進を求める意見書

意7 投資詐欺被害を防止し被害回復を図るための法整備を求める意見書

③ 全会派一致の賛同が得られなかった意見書案

なし

その後、座長から調整案提示のスケジュールを示し、各会派において速やかに検討するよう依頼した。

(3) 日程確認

第3回会議を12月12日(火)11時から開催することを確認した。